



Hiroshima.pref

広島県

令和4年度(案)

関連

「第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画」

ひと。しごと。くらし。 ずっと先の未来につなごう

事業

1 令和4年度の基本的な方向

- 「中山間地域振興計画」(第Ⅰ期:平成26年12月,第Ⅱ期:令和3年1月策定)に基づき,地域に暮らす方々が,将来に希望を持ち,「心豊かに,笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域」を目指して,多様な力でつながる《人》づくり,夢をカタチにできる《仕事》づくり,安心を支える《生活環境》づくりの三つを柱に,これまで関連施策を総合的に展開してきました。
- 特に第Ⅱ期計画においては,令和3年度からの5年間を,中山間地域を次世代に託すための力強い土台を築く期間として,デジタル技術を活用したスマートな里山づくりを進めることにより,持続可能な中山間地域の実現につなげることをしています。
- 依然として続く新型コロナウイルスの影響により,先行きが不透明な状況にありますが,一方で,自然豊かな環境に対する関心やデジタル化の進展に伴う多様で柔軟な働き方への社会全体の機運が高まりつつあるところです。
- こうした環境変化を「中山間地域の課題解決」に向けた好機として,引き続き,人づくりをはじめとするこれまでの取組の成果を踏まえながら,地域資源を生かした多様な主体による意欲あるチャレンジを積極的に後押しするとともに,デジタル技術を活用した取組を積極的に推進し,暮らしの豊かさや新しい価値の創造につなげてまいります。
- 施策の展開に当たっては,地域を取り巻く環境変化や目指す姿を市町と共有し,三つの施策の柱に沿って,協働・連携した取組を推進することによって,施策の実効性を高めながら中長期的な展望に立った地域力の向上を目指します。

2 計画の目指す姿と基本姿勢

目指す姿

里山・里海に象徴される人と自然が作り出す中山間地域ならではの資産が、守るべき価値あるものとして、内外の人々により引き継がれる中で、

地域への愛着と誇りの高まりが、将来への希望と安心につながり、心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

基本姿勢

地域の基盤や特性を強みとして生かす

人のつながりや自然の豊かさなど、それぞれの地域が持つ資源や特性を「強み」として再認識し、眠っていた価値を引き出していくことによって、地域の価値向上につなげていきます。

価値に共鳴する人を増やし、支え合いを安心につなげる

中山間地域の「価値を維持・向上させる」ことの大切さに共鳴する多様な人材を地域内外で増やし、ともに地域の未来をつくる存在として認め合い、支え合うことによって、安心の醸成につなげていきます。

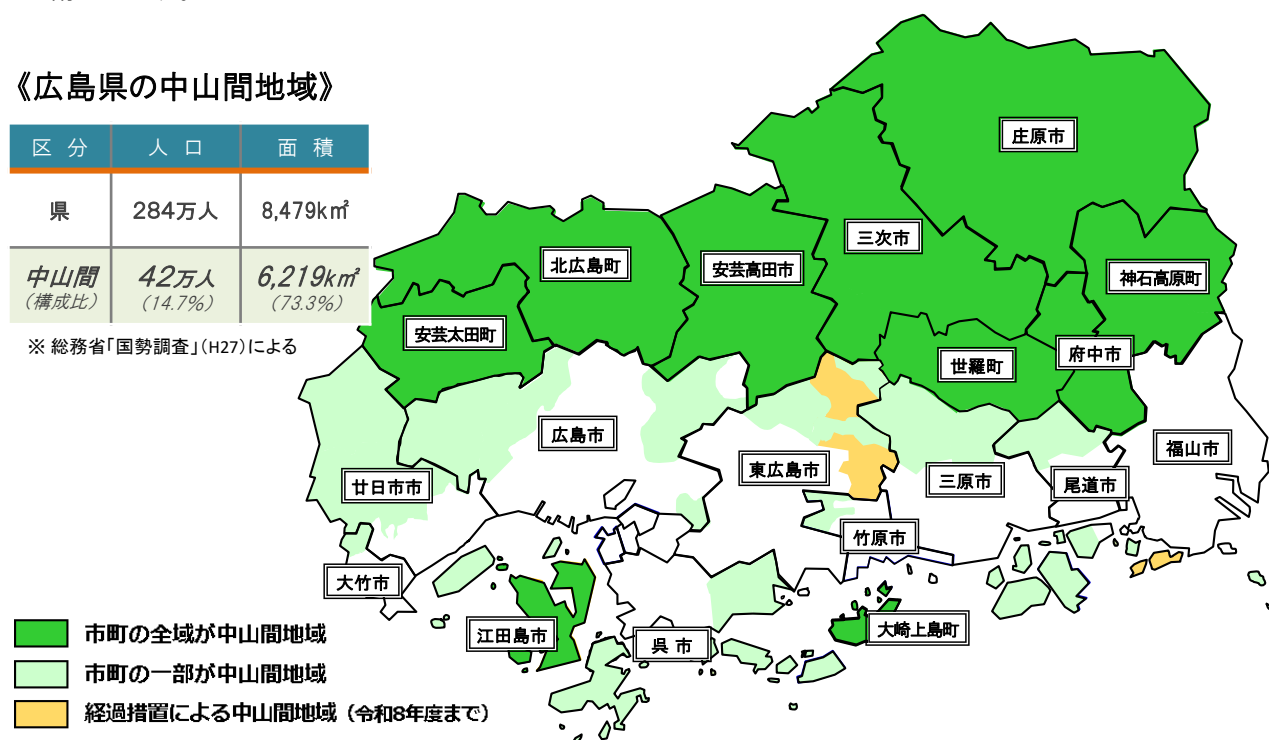
デジタルの力を取り込む

将来にわたって安心して暮らしを営むための新たな力となり得るデジタル技術を中山間地域の暮らしの中で分野横断的に実装することによって、新しい時代に対応した暮らしのモデルを創出します。

《広島県の中山間地域》

区分	人口	面積
県	284万人	8,479km ²
中山間 (構成比)	42万人 (14.7%)	6,219km ² (73.3%)

※ 総務省「国勢調査」(H27)による



3 計画に基づく施策体系

5年後の
目指す姿

施策の柱 (取組の方向)

施策の小柱

心豊かに、笑顔で幸せな生活を営むことができる中山間地域

中山間地域の資源や特性が価値ある資産として引き継がれ、その豊かさに共鳴する人たちによって、
将来への「夢や希望」を託す、様々なチャレンジが始まっています

■ 多様な力でつながる
人づくり

協働・連携・交流

(1) 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

移住

(2) 若い世代を呼び込む地域環境の創造

教育

(3) 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

■ 夢をカタチにできる
仕事づくり

農林水産業

(1) 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

事業展開・創業支援

(2) 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

観光

(3) 地域資源を生かし、つなげる、
魅力ある観光地づくり

■ 安心を支える
生活環境づくり

医療・介護

(1) 地域医療・介護提供体制の確保

居住環境

(2) 地域特性に応じた居住環境の整備

子育て支援

(3) 子育て環境の充実

環境保全

(4) 里山・里海の環境保全

危機管理

(5) 危機対処能力の向上

4 中山間地域振興計画関連主要事業の予算額等

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画 関連主要事業の予算額

R3年度との比較 **R3** 99.9億円 ⇒ **R4** 107.2億円 (7.3億円増)
※令和2年度2月補正(5.3億円)を含む ※令和3年度2月補正(5.6億円)を含む

H20年度との比較 **H20** 51.3億円 ⇒ **R4** 107.2億円 (約2倍)
※ 新たな過疎対策を重点分野と位置付けた初の予算

【施策ごとの主な事業】

ひと

3.1億円

■ 多様な力でつながる **人**づくり

- ① ひろしま里山・人材力加速事業
- 新** ② 元気さやま応援プロジェクト
- ③ 地域共生社会推進事業
- ④ ひろしまスタイル定住促進事業

しごと

71.7億円

■ 夢をカタチにできる **仕事**づくり

- 新** ① 食のイノベーション推進事業
- ② ひろしま型スマート農業推進事業
- ③ チャレンジ・里山ワーク拡大事業
- ④ 企業立地促進対策事業
- ⑤ 観光地ひろしま推進事業

くらし

32.4億円

■ 安心を支える **生活環境**づくり

- ① 地域医療介護総合確保事業
- ② デジタル技術を活用した
中山間地域の生活環境向上事業
- ③ 広島型MaaS推進事業
- ④ 鉄道ネットワークを活かした
中山間地域の魅力向上事業
- ⑤ ひろしまの森づくり事業

注) 予算額は、「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」に基づき、主に中山間地域に関わりの深い事業の予算額を合計したものであり、その他の「県内全域を対象に取り組む関連事業」の予算額は、別途(参考)として一覧にまとめている。

5 計画の推進に向けた施策別の主な取組

(1) 多様な力でつながる 人づくり

R4 主な事業費

3.1 億円

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 地域に愛着や誇りを持つ人たちの一歩踏み出すためのチャレンジが次々と起こり、共感の輪が生まれています。また、地域に根差したリーダーが育ち、多様な人材のネットワークによって、地域資源を生かし、新たな価値を生み出す主体的な活動が展開されるとともに、地域の価値に共鳴する人たちの外部からの移住が進んでいます。こうした中で、コミュニティの力の再生に向けて、誰もが必要に応じて活躍の機会を得られる地域運営の新しい仕組みが構築され、地域の課題解決につながるモデル的な取組が始まっています。
- ◆ また、地域の資源と呼べるスポーツを通じて、地域ならではの特色を生かした取組が始まり、参加や交流を通じて、自らの地域に愛着や誇りを持つ人々が増え、地域アイデンティティが高まってきています。
- ◆ さらに、次代を担う子供たちには、学校と地域が連携して、未来を創る人材としての資質や能力を伸ばす機会が確保され、地域に誇りを持ち、将来の担い手として育成される環境が整いつつあります。

《目指す姿を実現するための施策》

協働・連携・交流

① 多様な主体による 自主的・主体的な地域づくり

主な枠組み

- 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり
- 持続可能な地域運営の仕組みづくり
- スポーツを通じた地域活性化

移住

② 若い世代を呼び込む 地域環境の創造

主な枠組み

- 東京圏等からのU Iターン等の促進
- 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

教育

③ 地域を誇り未来を創る 人材を育てる教育

主な枠組み

- 地域の次代を担う人材の育成
- 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり
- 里山・里海体験の推進

① 多様な主体による自主的・主体的な地域づくり

人口減少等が進む中山間地域を支えていくため、地域づくりに取り組む多様な人材の裾野の拡大や、チーム500の登録者が地域を巻き込み、地域と協働して行う、新たなチャレンジを後押しするとともに、協働による持続可能な地域運営の仕組みづくりに市町と連携して取り組む。

また、スポーツの様々な力を活用して、地域の活性化や一体感を醸成するため、スポーツを核とした地域づくりを推進する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 人材プラットフォーム「ひろしま里山・チーム500」の登録人数	(R2) 381人	(R4) 490人
◇ 地域の資源と呼べるスポーツを活用して地域活性化を図っている市町数	(R3) 6市町	(R4) 8市町

【主な事業】

● 地域における《つながり力》の強化と人材の育成・ネットワークづくり

多様な人材の地域づくりへの活動参画を加速させるため、関心層の拡大に向けた機運醸成を図るとともに、新たな人材の育成や人材プラットフォームを活用した実践者の活動支援、ネットワーク化を推進

■ ひろしま里山・人材力加速事業【一部新規】 33百万円

【地域づくり活動への機運醸成】

- ・ 「ひろしま さとやま未来博2021」参加者の地域づくり活動への参画に向けた事業の実施
- ・ 里山資源を生かした取組の好事例の表彰を行う「ひろしま里山グッドアワード」の実施

【新たな人材の育成】

- ・ 地域づくりのノウハウを学ぶ「ひろしま《ひと・夢》未来塾」(第8期)の開講

【チーム500を活用した活動の活性化】

- ・ 産学金官で構成する「さとやま未来円卓会議」による助言
- ・ 自主的な活動実践に向けたクラウドファンディング(注)活用支援 など

注) クラウドファンディング
インターネット上で多数の人から
資金を募る仕組み

■ 元気さとやま応援プロジェクト【新規】 53百万円

- ・ チーム500の登録者が行う、地域に密着した新たな活動の立ち上げに必要な経費を支援

● 持続可能な地域運営の仕組みづくり

人口減少が加速し、小規模・高齢化が進む地域において、多様な主体が連携して取り組む柔軟な地域運営や創意工夫を生かした課題解決の取組を支援

■ 住民自治組織協働連携モデル推進事業 10百万円

- ・ 複数の住民自治組織が連携した「安心な暮らしを支える取組」に対する支援

■ 地域共生社会推進事業【一部新規】 ※一部 1百万円

- ・ 多様な主体が地域課題を共有して、その解決を図る取組を支援
- ・ 重層的なセーフティネットの構築に向けた市町の取組を支援

● スポーツを通じた地域活性化

地域が有する多様なスポーツ資源を生かし、スポーツを核とした豊かな地域づくりを推進

■ スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部 20百万円

- ・ 県内各市町の実施するわがまち♥スポーツへの支援
- ・ スポーツを活用した地域活性化の取組に向けた機運醸成
- ・ 地域のスポーツ資源を活用した、県民の関心を高める仕組みづくり
- ・ スポーツアクティベーションひろしま(SAH)の組織運営

② 若い世代を呼び込む地域環境の創造

コロナ禍で広まる働き方の変化等を背景に、高まっている地方への移住ニーズを取り込むため、自然と都市が融合した広島らしいライフスタイルを広く紹介し、地域とのマッチングを支援するとともに、ニーズに応じたきめ細かいサポートや空き家の掘り起こしなど、市町や関係団体等と連携して移住の受け皿づくりを進める。

主な指標	現状値	目標値
◇ 移住希望地域ランキング	(R2) セミナー部門 2位 窓口相談部門 6位	(R4) セミナー部門 5位以内 窓口相談部門 5位以内
◇ 県外からのUIターン 転入者数(全域過疎市町)	(R2) 250人	(R4) 286人

【主な事業】

● 東京圏等からのUIターン等の促進

「都市と自然の近接性」などの地域特性を生かした広島らしいライフスタイルの魅力の発信やAIを活用した相談対応システムによるマッチングなどの取組を推進

■ ひろしまスタイル定住促進事業 ※一部 68百万円

〔広島らしいライフスタイルの魅力発信〕

- ・ デジタルマーケティングの手法を用いた潜在層も取り込む情報発信
- ・ 市町や企業等と連携した移住フェアの実施

〔移住希望者と地域のマッチング〕

- ・ 相談窓口の運営, 相談者の来広支援
- ・ AIを活用した相談対応システム「あびいちゃん」の運用・拡充

● 地域特性を強みとして生かした受入態勢の強化

移住希望者と地域とのネットワークづくりや市町が取り組む空き家対策の取組を支援

■ ひろしまスタイル定住促進事業 ※一部 30百万円

〔移住者に対する受け皿づくり〕

- ・ 移住者の受け皿となる現地ネットワークづくり

■ 空き家活用検討事業 9百万円

- ・ 空き家バンクHPによる情報発信, 市町や地域への専門家派遣 等

③ 地域を誇り未来を創る人材を育てる教育

次代を担う子供たちが、地域への愛情や誇りを持ち、自らの創造力や行動力で、地域の新たな担い手として、これからの時代を切り拓いていく力を身に付けていけるよう、地域や市町と連携して、各学校における地域の特色を生かした教育活動を展開する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 地域に貢献しようとする意欲を持っている 中山間地域の県立高校生徒の割合	(R2) 63.0%	(R4) 80.0%

【主な事業】

● 地域の次代を担う人材の育成

中山間地域の次代を担う高校生が、地域・市町と一体となり、地域の活性化に向けた取組を行うことを通して、地域に貢献しようとする意欲の向上を図り、次世代のリーダーとして活躍できる人材となるよう支援

■ 中山間地域の次世代を担うリーダーの育成（非予算）

- ・ 学校、地域関係者、市町によるプロジェクト・チームで作成した地域活性化プランの実施・継続

● 地域の内外から選ばれる魅力ある学校づくり

平成26年2月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」（平成26年度～令和5年度）を着実に推進し、地域の特性や社会のニーズに対応した魅力ある高等学校を整備

また、デジタル技術を活用した遠隔教育システムを中山間地域等の県立高等学校に整備

■ 「学びの変革」推進事業【一部新規】※一部 19百万円

- ・ 中山間地域の学校における遠隔教育の推進

■ 魅力ある高校づくり推進事業 7百万円

- ・ 1学年1学級規模校等の活性化に向けた取組に対する支援
- ・ 「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」の推進に係る調査・研究
- ・ 後継計画の策定に係る検討

（その他の関連事業）

- 小中学校教育環境充実支援事業

● 里山・里海体験の推進

豊かな自然や伝統文化など、中山間地域ならではの特色を生かした多様な体験活動を推進するため、活動内容の充実に向けた市町の取組を支援

■ 「山・海・島」体験活動ステップアップ事業 17百万円

- ・ 連絡協議会や教職員研修会の開催
- ・ 地域の資源を活用した体験活動の好事例等の情報を発信
- ・ 体験活動を引率する教職員の旅費を支援



《トピックス》

■ ひろしま さとやま未来博2021を開催しました

中山間地域の地域づくり活動人材の裾野を広げることを目的に、令和3年9月から12月までの4か月間、特設サイトからオンラインを活用した体験プログラム等を配信

未来博を通じて、関りを持った人材を地域づくりリーダーとして育成・確保していくため、ひろしま里山・チーム500への登録を働きかけ

《実施概要》

開催期間	令和3年9月5日(日)～12月19日(日)
事業目標	特設サイトPV数 12万PV 体験プログラム等への参加者数 2万人 チーム500登録者増加数 65人(全体目標)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ● オープニングイベント ～@庄原市 ● リーディングプロジェクト ～最新の里山の動きを紹介するプロジェクト ● 里山ココロザシ・カフェ ～テーマ別に実践者と参加者が交流するワールド・カフェ ● さとやまGOODプロジェクト ～地域づくり実践者の活動を体験するプロジェクト ● クロージングイベント ～@江田島市, 里山グッドアワード表彰式を含む



《成果》

特設サイトPV数	282,247 (達成率235.2%)
体験プログラム等参加者数	33,815人 (達成率169.1%)
チーム500登録者増加数	66人 (R3.12末現在)



里山ココロザシ・カフェの様子



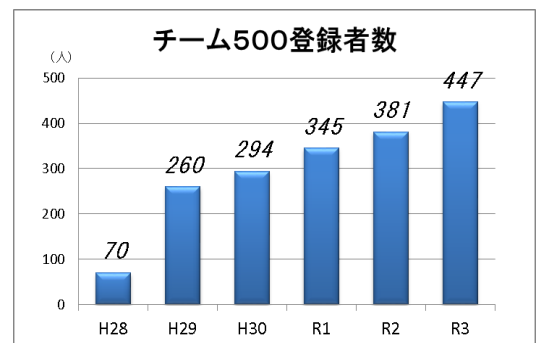
オープニングイベントの様子



さとやまGOODプロジェクトの様子

【ひろしま里山・チーム500 (ゴーマルマル)】

概要	地域づくりをリードする人材の活動継続やネットワークの拡大を支援するための人材プラットフォーム
設立日	平成28年12月20日
登録者数	H28: 70 人 → R3: 447 人(令和3年12月末現在)
登録要件	地域づくりの取組を自ら企画し、年1回以上実施していること



R3はR3年12月末現在

《トピックス》

■ 広島県への移住希望者や関心を持つ人が増えています

瀬戸内ライフやウイズコロナにおける働き方やライフスタイルの価値観の変化を踏まえたテーマによるセミナーや移住相談会など、地域資源や魅力を生かした多様な暮らし方の提案・発信により、移住相談は大きく増加し、令和2年の都道府県の「移住希望地域ランキング」では、セミナー部門で2位、窓口相談部門で6位にランクアップ

また、利便性を高める機能を拡充し、東京相談員のノウハウを取り込んでいるAI移住相談は、登録者数が3万5千人を超える規模に拡大

【移住希望地域ランキング】

順位	H26
1位	山梨県
2位	長野県
3位	岡山県
4位	福島県
5位	新潟県

：

18位	広島県
------------	------------

順位	R2	
	セミナー部門	窓口相談部門
1位	和歌山県	静岡県
2位	広島県	山梨県
3位	佐賀県	長野県
4位	静岡県	福岡県
5位	長野県	宮城県
6位	北海道	広島県

【年代別移住相談者の割合】

年度	H26	R2
相談件数	816 件	3,812 件
20代まで	11.5%	19.1%
30代	35.4%	31.5%
40代	22.5%	30.1%
50代	21.9%	15.3%
60代以上	8.6%	4.0%

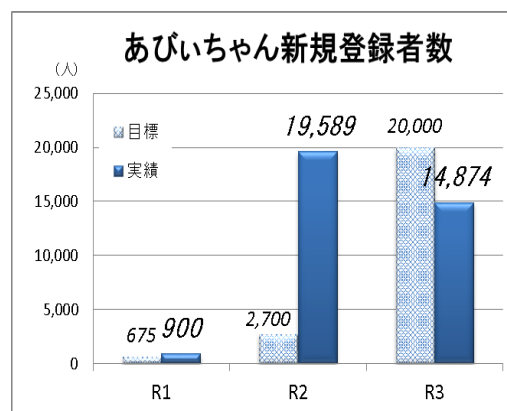


ひろしま暮らしサポートセンター
相談員 森上 陽子

【AIを活用した移住相談アプリ】



名称	ひろしまライフスタイル 「あびいちゃん」
登録者数	35,363人 (R3年12月末時点)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 東京相談員のノウハウである「相談者に寄り添った対話」により移住情報を提供 東京相談窓口や企業情報など、リアルな受け皿へ案内



R3はR3年12月末現在

《トピックス》

■ 新たな過疎対策法が制定されました

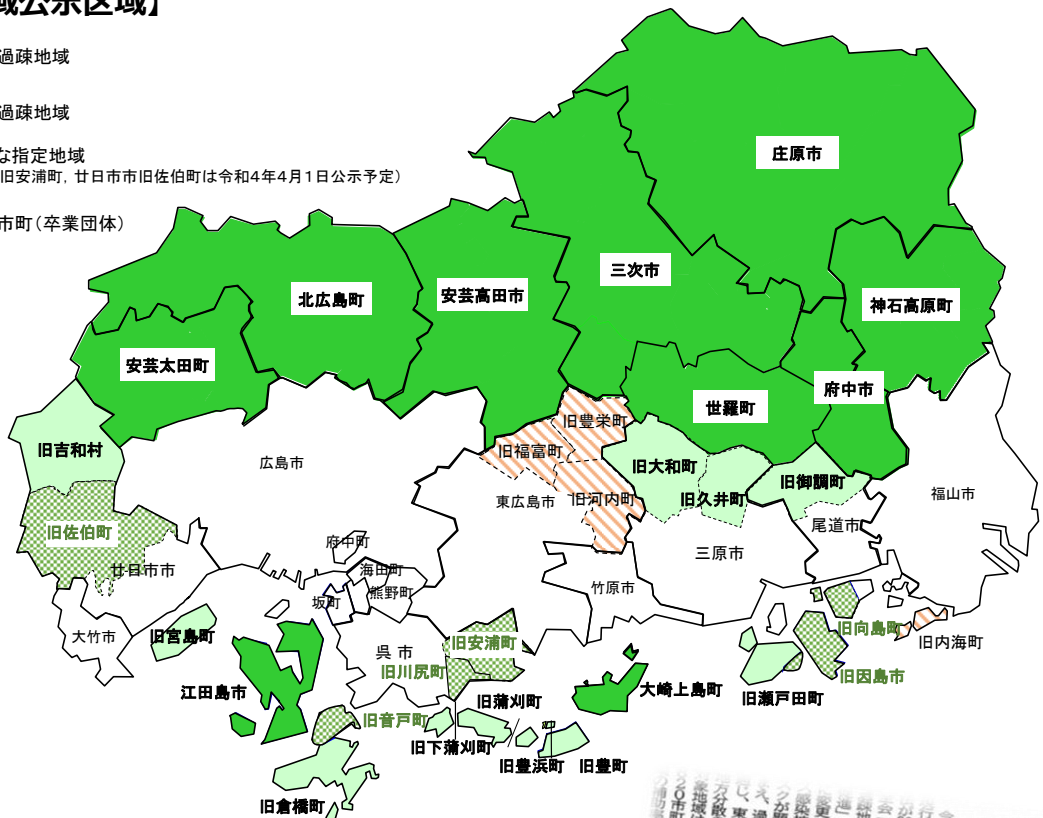
昭和45(1970)年に制定された「過疎地域対策緊急措置法」以来、4次にわたる特別措置法の制定を経て、令和3(2021)、新たに「過疎地域持続的発展支援特別措置法」が制定(議員立法)

社会情勢の新たな変化(人口減少・少子高齢化の加速、東京一極集中の加速など)とポストコロナ社会を見据え、「過疎地域の持続的発展」という新たな理念を創出

過疎地域の持続的発展のための対策の目標として、「人材の確保・育成」など、特に重要である項目について、新たに規定(法第4条)

【過疎地域公示区域】

- 全域過疎地域
- 一部過疎地域
- 新たな指定地域
(呉市旧安浦町、廿日市市旧佐伯町は令和4年4月1日公示予定)
- 特定市町(卒業団体)



【過疎対策として追加された項目】

項目	ポイント
移住・定住・地域間交流の促進、人材育成	過疎対策として「人材の確保・育成」が特に重要であるため、新たに追加。「関係人口」の確保も含まれる。
地域における情報化	過疎対策として「地域の情報化」が特に重要であるため、項目を独立。
再生可能エネルギーの利用の推進	過疎地域における資源循環の重要性を踏まえ追加。



(2) 夢をカタチにできる **仕事** づくり

R4 主な事業費 **71.7 億円**

目指す姿

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 中山間地域に暮らしながら、働き続けられる環境が維持され、多様な企業や人材が、地域ならではの資源や基盤を生かして、新たな事業にチャレンジしています。
- ◆ とりわけ、中山間地域の基幹産業である農林水産業では、デジタル技術を導入しながら生産性を向上させ、地域資源や雇用労働力を有効に活用しつつ規模拡大に取り組むなど、持続可能な企業経営にチャレンジする担い手が増加しています。
- ◆ 観光面では、サイクリング、カヤックなどの体験や地域で育まれてきた伝統芸能の鑑賞、情緒あふれる古民家での宿泊体験など、中山間地域の資源を生かした観光サービスや観光商品等が充実し、国内外からの多くの観光客が周遊しています。

《目指す姿を実現するための施策》

農林水産業

主な枠組み

① 生産性の高い持続可能な 農林水産業の確立

- 農業 ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成
- 畜産業 ～持続可能な広島和牛生産体制の構築
- 林業 ～森林資源経営サイクルの構築・
森林資源利用フローの推進
- 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の
生産供給体制の構築
- 持続的な農業生産活動の推進

事業展開・創業支援

主な枠組み

② 地域特性を生かした 事業展開や創業の促進

- 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援
- 中小企業の成長支援
- 雇用機会の創出・就業促進
- 地域資源の販路・消費拡大

観光

主な枠組み

③ 地域資源を生かし、つなげる、 魅力ある観光地づくり

- 国内外の観光客に向けた
観光資源の磨き上げと周遊促進

① 生産性の高い持続可能な農林水産業の確立

中山間地域において、農林水産業が所得や雇用を生み出すためには、経営力の高い経営体を中心となって、持続可能な生産構造を構築していく必要がある。

そのため、地域の核となる企業経営体の育成や新規就業者等の確保、木材需要の創出や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築、かきの安定生産体制の構築や水産資源の回復に向けて、資源管理や漁場環境の整備などに取り組む。

また、今後、デジタル技術・先端技術の革新が進むことから、スマート農林水産業の実装等による生産性の向上、広島和牛の生産体制の構築、県産農林水産物のブランド化・高付加価値化などに取り組む。

主な指標	現状値	目標値
(農業) ◇ 農業生産額(畜産を除く)	(R2) 703億円	(R4) 723億円
(畜産業) ◇ 広島和牛を肥育する企業経営体の飼養頭数	(R2) 1,800頭	(R4) 2,160頭
(林業) ◇ 経営力の高い林業経営体数	(R2) 4社	(R4) 9社
(水産業) ◇ 海面漁業※生産額800万円以上の担い手生産額〔※いわし類を除く〕	(H30) 7億円	(R4) 7億円

【主な事業】

● 農業 ～地域の核となる力強い経営体の確保・育成

農産物の生産額の増加を図るため、経営規模の拡大を目指す経営体の企業経営への転換支援や生産から販売に係る様々な企業と経営体が連携した新たなビジネスの創発、スマート農業技術を活用した生産性向上の取組を支援

■ 経営力向上支援事業【一部新規】 98百万円

- ・ 人材育成、予算・実績管理など重点課題の解決に向け専門家を派遣
- ・ 県立広島大学との連携による農業MBAスクールを開講
- ・ 経営課題の見える化等を可能にする電子カルテシステムの整備 など

■ 食のイノベーション推進事業【新規】 50百万円

- ・ 経営体と様々な企業が連携した、新たなビジネスを創発するプロジェクトの立ち上げを支援
- ・ 新商品や新サービスの提供に向け、プロジェクト実行計画に基づく新たなビジネスの実現を支援

■ ひろしま型スマート農業推進事業 136百万円

- ・ 中山間地域に対応した、スマート農業技術の確立に向けた実証試験の実施
- ・ メーカー等によるコンソーシアムでのカスタマイズ化によるひろしま型農業経営モデルの構築

● 畜産業 ～持続可能な広島和牛生産体制の構築

持続可能な和牛生産体制の構築に向けて、広島和牛ブランドの付加価値向上に取り組むとともに、乳用牛への受精卵移植による和牛の増産や肥育経営体への安定的な受精卵産子の供給に向けた仕組みの構築等を実施

■ 広島和牛ブランド構築事業【一部新規】 29百万円

- ・ 料理人と連携した営業実証の強化や魅力の訴求により、高級飲食店での取り扱いを拡大する取組を実施
- ・ 和牛オリンピックへの参加を通じ、本県の和牛の歴史や生産者のこだわりを情報発信

■ 広島和牛経営発展促進事業【一部新規】 13百万円

- ・ 高い受胎率が期待できる和牛受精卵の供給の実施
- ・ 酪農経営と肥育経営における受精卵産子の供給協定の拡大に向けた取組
- ・ 畜産経営体の経営発展課題を解決するための支援 など

● 林業 ～森林資源経営サイクルの構築・森林資源利用フローの推進

林業・木材産業の成長産業化の実現のため、木材需要の創出対策や県産材の安定的・効率的な供給体制の構築について、川上から川下までの総合的な取組を実施

■ 林業・木材産業等競争力強化対策事業【一部新規】 642百万円 【2月補正を含む】

- ・ 間伐材生産、路網整備、高性能林業機械等の導入の支援
- ・ 木材製品の国際競争力強化に資する間伐材生産、路網整備を支援

■ ニホンジカ被害拡大抑制対策事業 17百万円

- ・ モデル地区においてIoT技術を活用した調査及び捕獲方法の検証
- ・ 林業経営者等を対象とした、シカ被害対策への理解を深める研修の実施

● 水産業 ～持続的かつ安定的な水産資源の生産供給体制の構築

瀬戸内の地魚の持つ強みや特長を生かした広島県の食のブランド化の取組を推進し、瀬戸内の地魚の認知・評価を高め、消費拡大につなげることにより、漁業経営の収益性向上を図るとともに、持続的な沿岸漁業を構築

また、デジタル技術の活用によるかき養殖の生産安定化や、水産資源回復に向けた漁場環境改善等により、かき及び瀬戸内の地魚を安定的に供給する体制を構築

■ 水産業スマート化推進事業 45百万円

- ・ かき養殖におけるデジタル技術の活用
- ・ 水産資源の回復

■ 瀬戸内地魚のブランド化推進事業【新規】 10百万円

- ・ 飲食店における営業実証
- ・ 地魚の魅力を生かした商品開発
- ・ 地魚のブランド化に向けた情報発信及び連携体制の構築

● 持続的な農業生産活動の推進

効果的な鳥獣被害防止対策を推進するため、市町単位で人材育成や被害防止施設等の対策を重点的に実施するとともに、持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための活動を支援

■ 鳥獣害に強い集落等育成推進事業 244百万円

- ・ 鳥獣被害対策指導者等の育成や捕獲技術の向上を図るための各種研修等の実施

■ 農業・農村多面的機能支払事業 953百万円

- ・ 持続的な農業生産活動を通じた農地の公益的機能の維持を図るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮のための地域活動や道水路や農村環境の適切な保全活動を支援

② 地域特性を生かした事業展開や創業の促進

事業所や商店の閉鎖により就業の場が減少している中山間地域において、コロナ禍で広がっているリモートワーク等の働き方の変化を追い風に、サテライトオフィスの誘致促進や中小企業によるオンラインを活用した外部人材導入の取組を支援する。

また、インターネットを活用して、農産品等の販売チャネルの多様化を図ろうとする意欲ある事業者の取組を支援する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 外部人材活を活用する中小企業数 (全域過疎市町)	(R2) 3社	(R4) 142社
◇ 行政・経済団体・金融機関等連携による 「オール広島創業支援ネットワーク」を利用 した年間創業件数 (全域過疎市町)	(R2) 27件	(R4) 現状水準を維持

【主な事業】

● 新たな事業展開に向けたチャレンジ支援

企業のサテライトオフィスの誘致や即戦力となる専門人材の確保に取り組む市町を支援するとともに、「オール広島創業支援ネットワーク」を通じて、意欲ある人材の創業や新たな事業展開を支援

■ チャレンジ・里山ワーク拡大事業 94百万円

- ・ 市町が実施する企業の「お試し勤務施設」の整備に対する支援
- ・ 民間事業者による「コワーキング施設」の整備に対する市町と連携した支援
- ・ 地方進出に意欲を持つ首都圏企業とU・ターン希望者とのマッチング など

■ 創業環境整備促進事業 (県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 「オール広島創業支援ネットワーク」を通じた、創業から創業後の成長までの切れ目ない包括支援
- ・ ひろしま創業サポートセンターを軸としたハンズオン型の創業支援

● 中小企業の成長支援

中山間地域において、人材不足などの課題を抱える中小企業が、外部人材を活用して自社の経営課題に継続的に取り組んでいくための意識啓発の取組を推進
また、経営力強化に向け、専門家チームによる集中支援や経営セミナー等を実施

■ 中山間地域外部人材活用支援事業 8百万円

- ・ 外部人材の効果的な活用に向けた市町が主催するセミナーへの講師の派遣
- ・ セミナー参加企業に対する外部人材活用に向けたフォローアップ

■ 中小企業イノベーション促進支援事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 専門家チームによる集中支援や技術・経営力評価書の発行を通じた経営支援
- ・ データの分析・活用方法やイノベーションを創出する組織づくりのための学びの場の提供

● 雇用機会の創出・就業支援

中山間地域への企業誘致を促進するため、当地域への立地企業に対する雇用奨励金を拡充する市町への支援等

■ 企業立地促進対策事業【一部新規】 ※一部 305百万円

- ・ 市町が中山間地域で雇用奨励金制度を拡充した場合に、支援額の一部を補助（市町補助）
- ・ 情報サービス業等のオフィス誘致における市町の補助（賃料・通信回線使用料）と同額を補助
- ・ 中山間地域における、企業人材転入助成の対象者要件の緩和及び助成率のかさ上げ など

● 地域資源の販路・消費拡大

中山間地域の中小企業等の販売力強化に向け、ECサイトを活用した農林水産物・加工品の販路開拓、商工会等を通じた商品開発などの経営改善を支援

■ ECサイトを活用した販路開拓への支援（非予算）

- ・ ECサイトを活用した販売チャネルの多様化に取り組む道の駅等の支援

■ 小規模事業経営支援事業費補助金（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 商工会等が行う小規模事業者の経営改善や中小企業振興対策に対する支援

③ 地域資源を生かし、つなげる、魅力ある観光地づくり

里山・里海の豊かな自然や伝統文化などの魅力を通じた、中山間地域ならではの価値を提供するため、観光客の滞在や周遊につながる観光プロダクトの開発に取り組むとともに、国内外の観光客が、快適かつ安全安心に、周遊観光を楽しむことができるよう、ストレスフリーな受入環境の整備等に取り組む。

主な指標	現状値	目標値
◇ 年間総観光客数（全域過疎市町）	(R2) 1,160万人	(R4までに) 1,709万人

【主な事業】

● 国内外の観光客に向けた観光資源の磨き上げと周遊促進

観光の枠にとらわれない幅広い事業者間連携による付加価値の高い観光プロダクトの開発や、観光地における快適なトイレの整備等の受入環境整備を促進
また、周遊促進に向け、隣県との共同事業やスキー場を活用した情報発信等を実施

■ 観光地ひろしま推進事業【一部新規】 ※一部 373百万円

- ・ 観光プロダクト開発促進のための幅広い事業者間ネットワークの形成及び専門家による事業化支援
- ・ 事業者が行う観光プロダクト開発への補助
- ・ 観光需要の早期回復に向けた付加価値の高い観光プロダクト開発

■ おもてなしトイレ整備事業 ※一部 77百万円

- ・ 観光地におけるトイレ整備の推進

■ 広島県観光事業振興負担事業 ※一部 14百万円

- ・ 広島県・島根県において、広域周遊観光の促進を図るための共同事業の実施
- ・ 関係市町及び県内スキー場と連携した雪山誘客のための情報発信やイベント等の実施

《トピックス》

■ シカ被害の抑制に向けた新たな取組がはじまっています

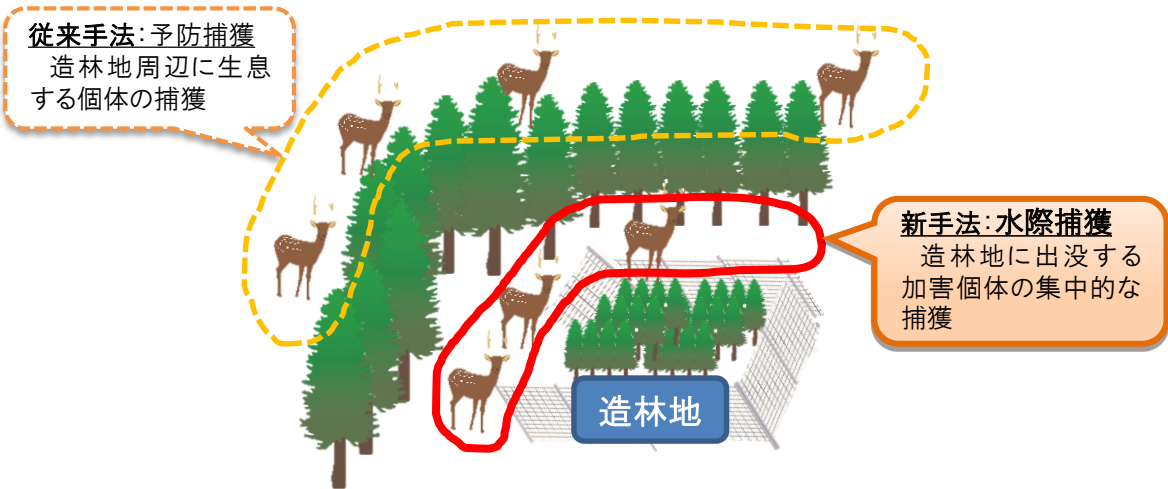
生息域が急速に拡大しているシカの捕獲技術を確認し、農林業被害等の拡大抑制を図るため、従来の捕獲方法から発想を転換し、造林地の近くで加害個体の捕獲を行う「水際捕獲」を全国で初めて実証

併せて、IoT技術の導入により、わなの見回り等のコストを削減

これらの取組により、苗木被害本数の割合が取組前の95%から5%まで減少するとともに、餌の少ない冬季でも被害軽減効果が継続

今後、得られた成果を技術マニュアルとして取りまとめ、市町への普及を促進

【水際捕獲のイメージ】



【IoT技術の活用】



IoTセンサーカメラを設置
(画像をリアルタイムでスマホに送信)



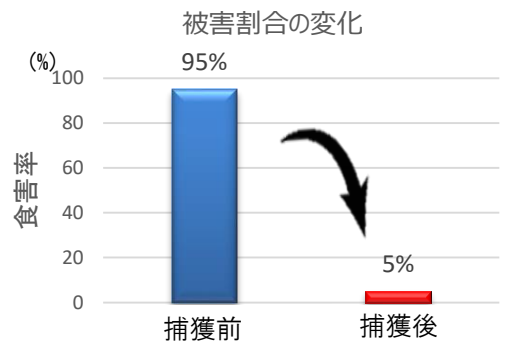
餌による誘因状況の確認



捕獲状況の確認

⇒見回りの省力化と加害個体の確実な捕獲

【取組成果】



現地捕獲研修の状況

《トピックス》

■ 企業進出、お試しオフィスの整備が進んでいます

中山間地域における新しいワークスタイルの定着と企業誘致を促進するため、遊休施設等を活用した企業のサテライトオフィスの誘致や、専門人材の確保を進めており、企業進出や、お試しオフィス等の整備が進展

【進出決定企業数（業種別）】

業 種	H30	R1	R2	R3 (R4.1現在)	合計
情報通信	1		6	3	10
製 造	2	2			4
サービ	1		2	3	6
そ の 他		4			4
合 計	4	6	8	6	24

【お試しオフィス等設置市町】

市 町	お試しオフィス(注)
呉 市	梶ヶ浜ワーキングスペース
三 原 市	旧和木小学校
三 次 市	ハイヅカ湖畔の森
庄 原 市	おいでん彩(旧総領中学校寄宿舎) 比和いざなみ工房
廿 日 市 市	せせらぎの里
安芸高田市	緑の交流空間
江 田 島 市	フウド(旧沖美就業改善センター)
大崎上島町	旧商工会木江支所
北 広 島 町	旧川迫小学校
神石高原町	油木山村開発センター



お試しオフィス位置図

注)お試しオフィス：
遊休施設等を活用して市町が整備した
短期間の体験勤務ができるオフィス

【専門人材の確保】

- ◆ 広島県との関わりを希望するIT人材と、地方進出に関心の高いIT企業、地元自治体をつなぐSlackコミュニティ「HIROSHIMA SATOYAMA WORK CO」を形成。500人以上の人材が参加



メインビジュアル



Slack画面

(3) 安心を支える **生活環境** づくりR4 主な事業費 **32.4 億円****目指す姿**

第Ⅱ期 広島県中山間地域振興計画(抜粋)

- ◆ 医療・介護の資源に限りがある中で、安心して質の高い医療を受けることができるよう、基幹的なへき地医療拠点病院が中心となった、他の中小規模の医療機関への医師派遣や広域的な人材育成などを通じた地域の医療機関のネットワークの構築、デジタル技術を活用した診療支援等により、医療提供体制の強化が進んでいます。
- ◆ また、介護を必要とする人も、住み慣れた身近な地域で安心して暮らすことができるよう、要介護者の状態に応じて、地域の医療・介護関係者が連携した最適な組み合わせで、在宅医療や介護サービスなどが提供されています。
- ◆ 地域や関係団体、企業、行政が連携して、日常生活に直結する様々なサービスについて、デジタル技術を活用して効率的に提供するための仕組みづくりが進み、スマートな里山づくりに向けたモデル的な取組が中山間地域全域に広がり始めています。
- ◆ とりわけ、交通アクセスについては、広域的な道路網と地域内の交通基盤が整備され、地域と都市を結ぶ広域幹線交通が維持されているとともに、新たな交通サービスの普及と地域の実情に応じた交通再編が進み、買物や通院等の日常生活の移動が確保されています。
- ◆ ネウボラを通じた子供や子育て家庭を支援する環境の構築に向けて、ほぼ全ての市町にネウボラの拠点が設置され、子育て家庭に関わる関係機関と市町のネウボラ拠点との間において、必要な情報が共有されています。
- ◆ 里山・里海の豊かな自然環境や水源かん養などの機能が、引き続き、維持・保全されています。また、災害を未然に防止し、局地的豪雨や地震、高潮等による災害時の被害を最小限にするための防災施設の整備が計画的に進むとともに、災害から命を守るための行動が実践されています。
- ◆ また、新型コロナ等による健康危機事例を踏まえ、平常時から健康危機の発生を未然に防止するための監視業務が適切に行われるとともに、緊急事態に備えた医療提供体制など、健康危機に適切に対応するための仕組みが構築されています。

《目指す姿を実現するための施策》

医療・介護

① 地域医療・介護 提供体制の確保

主な枠組み

- 医師等医療従事者の確保・育成
- 医療連携体制の維持・強化
- 地域包括ケア体制の確立

居住環境

② 地域特性に応じた 居住環境の整備

主な枠組み

- デジタル技術を活用した暮らしの向上
- 持続可能な生活交通体系の構築
- 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

子育て支援

③ 子育て環境の充実

主な枠組み

- 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実
- 子供の居場所の充実

環境保全

④ 里山・里海の環境保全

主な枠組み

- 森林の公益的機能の維持・発揮
- 地域資源を活用した
再生可能エネルギーの利用促進
- 廃棄物の適正処理と
海洋プラスチックごみの流出防止

危機管理

⑤ 危機対処能力の向上

主な枠組み

- 災害対処能力の向上
- 健康危機対応能力の強化

① 地域医療・介護提供体制の確保

高齢化が進む中山間地域の医師不足の状況を踏まえ、地域に必要な医療体制を確保するため、若手医師の確保などに取り組むとともに、無医地区等への巡回診療など、へき地医療等の医療提供体制の維持・確保を図る。

また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援のサービスが切れ目なく一体的に提供される地域包括ケア体制を構築する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 医療施設従事医師数 (全域過疎市町)	(H30) 452人 〔人口10万人対〕 195.1人	(R4) 452人以上 206.1人以上
◇ 医療や介護が必要になっても、 安心して暮らし続けられると思う者 の割合	(R3) 51.1%	(R4) 61.0%

【主な事業】

● 医師等医療従事者の確保・育成，医療連携体制の維持・強化

中山間地域等に就業する医師の確保を図るため、県地域医療支援センター等による医師確保に向けた取組を推進するとともに、無医地区等における安心な医療サービスの提供に向けて、へき地医療拠点病院による巡回診療などにより必要な医療提供体制を確保

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 469百万円

- ・ 広島大学ふるさと枠・岡山大学地域枠の医学生への奨学金の貸付
- ・ 広島大学医学部寄付講座の運営支援
- ・ 地域医療支援センター等による医師確保 など

■ 地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部 58百万円

- ・ へき地医療拠点病院の機能連携及びへき地診療所の運営への支援

● 地域包括ケア体制の確立

高齢化や医療、介護の社会資源等の地域特性に応じた地域包括ケア体制を構築

■ 地域医療介護総合確保事業【一部新規】 ※一部 100百万円

- ・ 地域包括ケアシステムの質の向上に向けた、人材育成・アドバイザー派遣等の重点的な市町支援

② 地域特性に応じた居住環境の整備

日常生活に直結する様々な分野にデジタル技術を積極的に取り込むことにより、中山間地域における暮らしを持続可能なものにするための市町の取組を支援する。

また、中山間地域における生活交通は日常生活に不可欠なことから、国や市町と連携して幹線的なバス路線や航路等の維持・確保を図るとともに、デジタル技術を活用したMaaS^(注)など新たな交通サービスの導入に向けた支援を行う。

注) MaaS (マース) (Mobility as a Service)

出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念

主な指標	現状値	目標値
◇ デジタル技術を活用した課題解決モデルの創出	(R2) 0件	(R4) 6件

【主な事業】

● デジタル技術を活用した暮らしの向上

生活に身近な分野において、中山間地域の課題解決に資する、デジタル技術を活用した新たなサービスを導入しようとする市町を支援し、中山間地域における取組モデルを創出

■ デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業【一部新規】 100百万円

- ・ 事業の実装に向けた、市町の課題分析や成果測定指標の設定等に係る伴走支援
- ・ デジタル技術を活用したサービスを通じて、身近な生活課題等の解決を図る市町の実装に向けた取組を支援

■ 広島県デジタルトランスフォーメーション^(注)推進事業 ※一部

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・ 市町におけるDXの推進(個別案件への相談対応や助言、審議会等への参画など)
- ・ みんなのDX研修や、経営者層向け研修の開催 など

注) デジタルトランスフォーメーション

2004年にスウェーデンのストルターマン教授が提唱した「ITの浸透が人々の生活をあらゆる面でもより良い方向に変化させる」という概念、DXと表記

● 持続可能な生活交通体系の構築

地域の暮らしや経済活動を支える広域的な生活交通を維持・確保するため、国や市町と連携した路線や航路等の支援やデジタル技術を活用した新たな交通サービスの導入支援

■ 広島型MaaS推進事業 54百万円

- ・ 市町等に対する計画作成及び実証実験等への支援
- ・ モビリティデータ基盤の構築 など

■ 生活交通確保対策事業 466百万円

- ・ 国や市町と連携した広域的・幹線的なバス路線への支援

■ 市町生活交通支援事業 148百万円

- ・ 市町が運行する路線バス、デマンド交通への支援

■ 鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業 27百万円

- ・ 鉄道を核とした地域交通の利便性向上等に取り組む市町を支援
《対象路線》 JR芸備線, JR福塩線
- ・ 移動ニーズに基づく実証実験 など

■ 離島交通対策事業 113百万円

- ・ 国の補助制度を補完して、離島の唯一航路を支援

■ 生活航路維持確保対策事業 108百万円

- ・ 離島の暮らしの維持に不可欠な航路への支援
- ・ 架橋で結ばれた地域の経済活動の維持に不可欠な時間短縮効果に優れた航路への支援

■ 広島県地域公共交通ビジョン策定事業【新規】（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 県全体の地域公共交通政策のマスタープランとして、「広島県地域公共交通ビジョン」を策定

● 社会環境の変化に対応したライフラインの維持

日常生活に不可欠な水道や下水道などの維持・確保を図るため、計画的かつ効率的な整備及び管理を行うとともに、持続可能な運営に向けて広域連携などの取組を推進

■ 水道広域連携推進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 「広島県水道広域連携推進方針」に基づく企業団の設立及び事業開始に向けた準備
- ・ 統合以外の連携を選択した市町との連携策の検討及び実施

■ 上下水道DX推進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 業務の効率化や県民サービスの向上を図るための水道事業に係るDXの推進

③ 子育て環境の充実

子育て環境は、若い世代の定住を促進する上で重要な要素であるため、中山間地域ならではの豊かな自然環境を活かし、多様化するニーズに応じた質の高い保育サービスの確保・充実を図るとともに、多様な主体の連携によって、どこに住んでいても安心して子育てできる環境づくりに市町と一体となって取り組む。

主な指標	現状値	目標値
◇ 安心して妊娠、出産、子育てができると思う者の割合 (ひろしま版ネウボラを実施している市町)	(R1) 80.0%	(R4) 83.0%

【主な事業】

● 妊娠期からの切れ目のない見守り・支援の充実

すべての子供と子育て家庭が安心して暮らし、子育てができるよう、子供を取り巻く関係機関が連携し、妊娠期からの切れ目のない見守り・支援を行うとともに、児童虐待などの様々なリスクを早期に把握し、リスクが重篤化する前に必要な支援を届ける仕組みを構築

■ 子供の予防的支援構築事業 ※一部 76百万円

- ・ AIを活用した子供の予防的支援の仕組みを構築
- ・ 紙カルテでの運用が中心の母子保健データをデジタル化するシステムの開発

■ ひろしま版ネウボラ構築事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ ひろしま版ネウボラの全県展開に向け、市町と理念を共有した上で、あるべき機能や体制を整理した基本型に基づく取組に要する経費等を支援
- ・ 専門職の確保や業務の質の向上を図るため、ガイドラインに沿った研修を実施

● 子供の居場所の充実

豊かな自然環境を活用した体験活動を取り入れた保育・幼児教育の普及を図るとともに、多様な保育サービス等の充実を図るため、認定こども園等の整備、保育士等の人材確保を実施

■ 多様な保育サービス充実事業 ※一部 11百万円

- ・ ひろしま自然保育認証制度に基づく認証団体の支援

■ 未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 保育士人材バンクの運営による潜在保育士等と保育施設のマッチング など

④ 里山・里海の環境保全

森林の有する公益的機能の維持・発揮に向けて、多様な主体による自主的・継続的な森林保全活動を各地域へ拡大させ、県民参加の森づくりを進める。

また、地域の環境の保全に向けて、地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進や海ごみの発生抑制、廃棄物の適正処理などを進める。

主な指標	現状値	目標値
◇ 手入れ不足の人工林の年間間伐面積	(R2) 681ha	(R4) 1,000ha
◇ 3品目の海岸漂着物 (ペットボトル, プラスチックボトル, レジ袋)	(R2) 8.4t	(R4) 8.4t

【主な事業】

● 森林の公益的機能の維持・発揮

県民全体が享受している県土の保全や水源のかん養など森林の有する公益的機能を持続的に発揮させるため、県民全体で森林を守り育てる事業を実施

■ ひろしまの森づくり事業 ※一部 1,015百万円

- ・ 県民生活への影響が大きいと想定される森林の集中的な整備等を実施
- ・ 地域が抱える里山林の課題解決に向けた取組の推進や、地域住民等が里山林を継続して管理できる体制づくりを支援
- ・ 森林資源の利用促進に向けた、木造建築物における県産材利用拡大の推進
- ・ 市町と連携した取組内容や成果の広報による、県民理解の促進 など

● 地域資源を活用した再生可能エネルギーの利用促進

本県の豊富な森林資源を生かし、市町や住民団体等が一体となって、里山の手入れによって搬出された未利用材を地域で熱利用するなど、地球温暖化の防止に向けて、木質バイオマス等の再生可能エネルギーの利用を促進

■ 里山バイオマス利用拡大支援事業 5百万円

- ・ 木質バイオマスの利用を一層促進するため、里山林の未利用材を地域内で利用する取組を支援

● 廃棄物の適正処理と海洋プラスチックごみの流出防止

廃棄物の適正処理のため、パトロールの実施等による不法投棄防止対策等の推進や市町が実施する不法投棄防止対策等を支援するとともに、海洋プラスチックごみの流出防止に向け、発生抑制対策の推進や市町が実施する回収・処理の取組を支援

■ 産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部（県内全域を対象とする関連事業）

- ・ 市町が実施する不法投棄防止対策等の支援
- ・ 産業廃棄物の不法投棄監視体制の構築・強化

■ 海ごみ対策推進事業【一部新規】 113百万円

- ・ 海ごみ対策プラットフォームの運営
- ・ 参画企業と連携した、プラスチックの循環的利用の高度化に向けたモデル事業の実施
- ・ ごみステーションや空容器回収BOXにおける漏洩防止のモデル事業の実施
- ・ 海岸漂着ごみの実態把握調査
- ・ 市町が実施する海ごみ対策への補助

⑤ 危機対処能力の向上

いつ起こるか分からない災害から命を守るため、県民一人一人が自らの判断に基づき、適切な避難行動を実践することができるよう、自助、共助、公助にわたる、より効果の高い被害防止策を実施する。

主な指標	現状値	目標値
◇ 避難の準備行動ができている人の割合	(R2) 2.4%	(R4) 32.0%

【主な事業】

● 災害対処能力の向上

「災害死ゼロ」を目指し、県民一人一人が、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、県民、自主防災組織、事業者、行政等が一体となって県民総ぐるみ運動を推進

■ 「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業【一部新規】

(県内全域を対象とする関連事業)

- ・ ひろしまマイ・タイムラインを普及促進するための、小学校・中学校への出前講座の充実及び自主防災組織等を対象とした防災教室の実施
- ・ マイ・タイムラインを実装した防災アプリの活用を促進するための広報プロモーションの展開など

● 健康危機対応能力の強化

感染症発生時においても必要な医療サービスが提供できるよう、関係機関が連携して迅速かつ的確な対応を図るための研修会を開催するなど、医療提供体制を充実・強化

■ 新型コロナウイルス感染症対策事業【一部新規】 ※一部

(県内全域を対象とする関連事業)

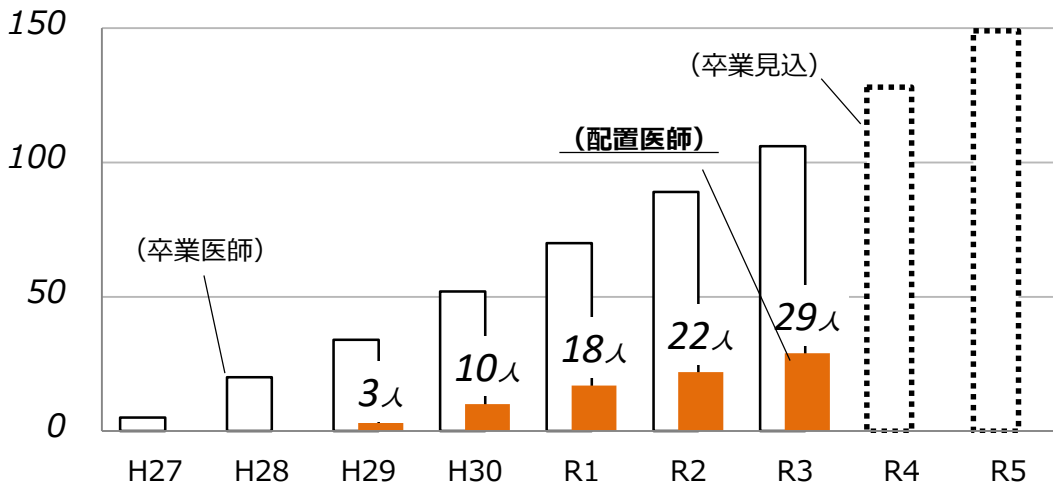
- ・ 感染症対応の事業継続計画策定のための研修を開催

《トピックス》

■ 若手医師の活躍が広がっています

中山間地域に必要な医療体制を確保・維持していくため、広島大学や岡山大学と連携して確保・育成してきた「地域医療を志す医学生」が、2年間の初期臨床研修を修了後、順次、中山間地域の指定医療機関等での勤務をスタートしており、配置医師数は順調に増加

【ふるさと枠医師数（見込み）】



【制度の概要】

開設時期	平成21年度～
種別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広島大学 ふるさと枠 (R4入学定員：18名) ・ 岡山大学 地域枠 (R4入学定員：2名)
特色	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 広島県医師育成奨学金貸与 ➢ 地域医療セミナー等による地域医療マインドの醸成



中山間地域で勤務している若手医師



地域医療セミナーで機器の使用体験を行う医学生



地域医療実習の様子



地域医療を志す医学生

《トピックス》

■ ひろしまマイ・タイムラインを活用した防災教育が進んでいます

地域に応じた災害リスクの認識を深め、予め自分や家族の避難タイミングを決めておく「ひろしまマイ・タイムライン」(自らの防災行動計画)の普及を進める防災教育の取組として、県内の小学校等で出前講座を令和3年度から実施

【取組の概要】

名 称	「ひろしまマイ・タイムライン」出前講座	
開催時期	令和3年5月～	
開催場所	県内の小学校等	
開催数 (※)	122校 375コマ (全域過疎市町 24校 69コマ)	
参加者数 (※)	延べ9,748人 (全域過疎市町 1,411人)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ひろしまマイ・タイムライン推進員による出前講座を希望する学校を訪問し、防災授業を実施（新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、一部オンライン授業を実施） ● 自然災害の疑似体験ができるVR(バーチャルリアリティ)教材を活用した体験型の授業や、人型ロボットPepperによる授業も併せて実施 	

※ 令和3年12月末までの数値

【実施の様子】



出前講座の様子



VR教材を活用した体験型授業



人型ロボットPepperによる授業

《参考》

- ✚ 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)
- ✚ 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

《参考》 中山間地域の振興に関わりの深い事業(一覧)

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局名	
人づくり	協働・連携・交流	ひろしま里山・人材力加速事業	一部新規	33	地域
	協働・連携・交流	元気さとやま応援プロジェクト	新規	53	地域
	協働・連携・交流	ひろしま里山ウェブ拡大プロジェクト		19	地域
	協働・連携・交流	ひろしま版里山エコシステム構築事業		17	地域
	協働・連携・交流	住民自治組織協働連携モデル推進事業		10	地域
	協働・連携・交流	中山間地域活性化推進費 ※一部		3	地域
	協働・連携・交流	中国地方中山間地域振興事業		1	地域
	協働・連携・交流	地域共生社会推進事業 ※一部	一部新規	1	健康
	協働・連携・交流	スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部		20	地域
	移住	ひろしまスタイル定住促進事業		98	地域
	移住	空き家活用検討事業		9	土木
	教育	中山間地域の次世代を担うリーダーの育成		(非予算)	教育
	教育	「学びの変革」推進事業 ※一部	一部新規	19	教育
	教育	魅力ある高校づくり推進事業		7	教育
	教育	「山・海・島」体験活動ステップアップ事業		17	教育
小計			306		
仕事づくり	農林水産業	先進農業企業参入促進事業		14	農林
	農林水産業	経営力向上支援事業	一部新規	98	農林
	農林水産業	食のイノベーション推進事業	新規	50	農林
	農林水産業	新規就農者育成総合対策事業	一部新規	553	農林
	農林水産業	農地中間管理事業 ※一部		191	農林
	農林水産業	農地集積加速化支援事業		75	農林
	農林水産業	農産物生産供給体制強化事業 【2月補正を含む】	一部新規	634	農林
	農林水産業	ひろしま型スマート農業推進事業		136	農林
	農林水産業	家畜人工授精事業		33	農林
	農林水産業	広島和牛ブランド構築事業	一部新規	29	農林
	農林水産業	広島和牛経営発展促進事業	一部新規	13	農林
	農林水産業	森林整備地域活動支援事業		18	農林
	農林水産業	森林経営管理推進事業 ※一部	一部新規	143	農林
	農林水産業	地域森林計画編成費 ※一部		27	農林
	農林水産業	林業・木材産業等競争力強化対策事業 【2月補正を含む】	一部新規	642	農林
	農林水産業	ニホンジカ被害拡大抑制対策事業		17	農林
	農林水産業	水産業スマート化推進事業		45	農林
	農林水産業	夏かき産地育成事業		9	農林
	農林水産業	瀬戸内水産資源増大対策事業		2	農林
農林水産業	瀬戸内地魚のブランド化推進事業	新規	10	農林	

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局名	
仕事づくり	農林水産業	集落営農活性化プロジェクト促進事業	新規	50	農林
	農林水産業	ひろしま地産地消推進事業		5	農林
	農林水産業	6次産業化総合支援事業	一部新規	24	農林
	農林水産業	中山間地域等直接支払事業		2,139	農林
	農林水産業	鳥獣害に強い集落等育成推進事業		244	農林
	農林水産業	農業・農村多面的機能支払事業		953	農林
	事業展開・創業支援	チャレンジ・里山ワーク拡大事業		94	地域
	事業展開・創業支援	中山間地域外部人材活用支援事業		8	地域
	事業展開・創業支援	企業立地促進対策事業 ※一部	一部新規	305	商工
	事業展開・創業支援	ECサイトを活用した販路開拓への支援		(非予算)	地域
	観光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	一部新規	373	商工
	観光	国際サイクリング大会開催費		148	商工
	観光	おもてなしトイレ整備事業 ※一部		77	商工
	観光	広島県観光事業振興負担事業 ※一部		14	商工
小 計			7,173		
生活環境づくり	医療・介護	自治医科大学関係費		132	健康
	医療・介護	地域医療介護総合確保事業 ※一部	一部新規	571	健康
	医療・介護	医療型短期入所施設補助事業		2	健康
	医療・介護	地域医療体制確保事業(へき地医療等) ※一部		58	健康
	医療・介護	へき地医療対策費(へき地等巡回診療費)		6	健康
	医療・介護	医療施設整備費補助金(へき地医療拠点病院設備整備等) ※一部		164	健康
	居住環境	デジタル技術を活用した中山間地域の生活環境向上事業	一部新規	100	地域
	居住環境	広島型MaaS推進事業		54	地域
	居住環境	生活交通確保対策事業		466	地域
	居住環境	市町生活交通支援事業		148	地域
	居住環境	鉄道ネットワークを活かした中山間地域の魅力向上事業		27	地域
	居住環境	離島交通対策事業		113	地域
	居住環境	生活航路維持確保対策事業		108	地域
	居住環境	交番・駐在所整備事業 ※一部		49	警察
	子育て支援	子供の予防的支援構築事業 ※一部		76	健康
	子育て支援	多様な保育サービス充実事業 ※一部		11	健康
	環境保全	ひろしまの森づくり事業 ※一部		1,015	農林
	環境保全	里山バイオマス利用拡大支援事業		5	環境
	環境保全	もみのき森林公園活性化事業	新規	20	環境
環境保全	海ごみ対策推進事業	一部新規	113	環境	
小 計			3,238		
合 計			10,717		

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関わりの深い部分を対象としている。

《参考》 県内全域を対象とする関連事業(一覧)

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局名	
人づくり	協働・連携・交流	花と緑の連携推進事業	新規	3	土木
	協働・連携・交流	外国人材の受入・共生対策事業 ※一部		48	地域
	協働・連携・交流	地域共生社会推進事業 ※一部	一部新規	42	健康
	協働・連携・交流	災害時メンタルヘルスケア推進事業		8	健康
	協働・連携・交流	スポーツを活用した地域活性化推進事業 ※一部		98	地域
	協働・連携・交流	広域公園管理費		315	土木
	協働・連携・交流	けんみん文化祭開催事業		25	環境
	協働・連携・交流	地域文化拠点強化事業	新規	20	環境
	教育	小中学校教育環境充実支援事業		21	教育
	教育	広島県教師養成塾事業		1	教育
仕事づくり	事業展開・創業支援	創業環境整備促進事業		115	商工
	事業展開・創業支援	中小企業イノベーション促進支援事業		194	商工
	事業展開・創業支援	イノベーション・エコシステム形成事業 ※一部	一部新規	63	商工
	事業展開・創業支援	イノベーション人材等育成・確保支援事業 ※一部		89	商工
	事業展開・創業支援	緊急時レジリエンス環境整備事業	一部新規	30	商工
	事業展開・創業支援	女性活躍促進・仕事と家庭の充実応援事業	一部新規	48	商工
	事業展開・創業支援	離転職者等就業支援事業 ※一部		43	商工
	事業展開・創業支援	働き方改革推進事業 ※一部	一部新規	38	商工
	事業展開・創業支援	小規模事業経営支援事業費補助金		2,367	商工
	観光	観光地ひろしま推進事業 ※一部	一部新規	351	商工
	観光	魅力ある「まちなみづくり」支援事業		7	土木

(単位:百万円)

区分	事業名	新規等	事業費	局名
医療・介護	地域医療介護総合確保事業 ※一部	一部新規	6,705	健康
医療・介護	医療資源偏在解消・地域医療体制確保推進事業		31	健康
医療・介護	ドクターヘリ事業		292	健康
医療・介護 危機管理	新型コロナウイルス感染症対策事業 ※一部		34,576	健康
医療・介護	保険者機能強化支援事業		20	健康
医療・介護	社会福祉人材育成センター設置事業		19	健康
居住環境	広島県デジタルトランスフォーメーション推進事業 ※一部		24	総務
居住環境	広島県地域公共交通ビジョン策定事業	新規	50	地域
居住環境	水道広域連携推進事業		254	企業
居住環境	上下水道DX推進事業		0	企業
居住環境	生活排水処理対策推進事業		105	環境
子育て支援	ひろしま版ネウボラ構築事業		105	健康
子育て支援	子供の予防的支援構築事業 ※一部		12	健康
子育て支援	「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プロジェクト	一部新規	88	教育
子育て支援	地域学校協働活動推進事業		56	教育
子育て支援	地域子ども・子育て支援事業		3,427	健康
子育て支援	幼稚園機能充実支援事業 ※一部	【2月補正】	101	環境
子育て支援	保育対策等促進事業		157	健康
子育て支援	未来をはぐくむ「ひろしま安心保育」推進事業	一部新規	399	健康
子育て支援	子育て支援従事者の育成・資質向上事業		21	健康
子育て支援	ひろしま子育て応援事業		29	健康
環境保全	生物多様性保全推進事業		8	環境
環境保全	狩猟者育成事業		8	環境
環境保全	国定公園等整備事業		144	環境
環境保全	公園施設維持修繕事業		272	環境
環境保全	産業廃棄物埋立税活用事業 ※一部		944	環境
環境保全	瀬戸内海環境保全推進事業 ※一部		1	環境
危機管理	「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」推進事業	一部新規	339	危機
危機管理	建設技術者等雇用助成事業		20	土木
危機管理	防災と福祉の連携による個別計画策定促進事業		40	健康
危機管理	建設分野の革新技術活用推進事業		27	土木

生活環境づくり

注)・端数処理の関係で積上げ数値と合計等が異なる場合がある。

・「※一部」と表記されている事業は、全体事業費のうち中山間地域に関連する部分を対象としている。

(合計:52,201 百万円)